

海岸林再生プロジェクト

マツ材線虫病対策

一小さな異変を見逃さず、松枯れを防ごう

背景

【クロマツ】

別名は「男松」。マツ科の植物。その名の通り強くたくましい潮に最強の樹木。痩せた土地でも根をぐんぐん伸ばし、水をあげなくても光があれば育ってくれるため、防災林にはもってこい。

【クロマツの効果】

太平洋に面した宮城県名取市の沿岸地域は、塩分を含んだ潮風が強く吹き、砂浜の砂を巻き上げます。農業用ビニールハウスや車の劣化、砂が葉物野菜や家の中に入り込んだりするのを防いでくれているのは海岸林です。

蔵王連山から吹き下ろす「蔵王おろし」は、時に新幹線や電車が運行できなくなるほどの強風ですが、列状に植えられた内陸防風林が防いでくれます。この地で安心して生活できるのは海岸林や内陸防風林のおかげです。



名取市海岸林再生の会 菅野元子

icoさんの防災林イラスト↑

【温暖化の影響は？】

この20年間で、名取市でも猛暑日（35℃以上）や真夏日（30℃以上）の日数が明らかに増えており、マツノマダラカミキリが暖かい気候を好んでやってきて、松枯れ病が流行っている。

そこでこの問題どうにかできないかと僕たちにできるプロジェクトを考えた。

問い（クエッション）

マツノマダラカミキリをやっつけるために僕たちにできることはあるのだろうか？

アクション1 フィールドワークの実際

結論:食われている木をすぐに伐採する
吉田さんやボランティアの人の話を聞くと
ヤツらは幹の深くに孵化させるから殺虫剤
(ウン千万)が届かないし、あとから殺しても壊された幹は戻らない。

自分たちにできることとして、松の木が食われていないかを見回りする。

また、規模は大きくなってしまいが、天敵となるキツツキ科の生物に海岸林に住んでもらうことを提案をする。



実際に聴いてみて、聴く前と変わったことや分かったこと

津波だけがクロマツの敵だと思っていた。だが最大の敵はマツノマダラカミキリだった。

アクション2

現場に行って海岸林の現状を把握し自分たちが貢献できることを探す。

主なスケジュール

5月30日(土)	50名	くず刈り取り
6月6日(土)	50名	くず刈り取り
6月27日(土)	50名	くず刈り取り
7月11日(土)	50名	くず刈り取り
9月5日(土)	50名	くず刈り取り
9月26日(土)	50名	くず刈り取り
10月10日(土)	50名	くず刈り取り

実際に行った現場のアクション

- ・ 松の現状を知る。
- ・ 吉田さんに質問
- ・ 葛刈り



まとめ

多くの監視の目をつける必要がある。

また、天敵となる生物に住んでもらうための活動も提案していく。

今後の展望：今回の活動で

結果

1. プロや僕たちでもマツノマダラカミキリの撲滅は不可。だが松にツルを伸ばして成長を阻害する葛は時間や人手で撲滅可能。

人手不足対策: 広報活動として、icoさんの 絵本やイラストをワークショップなどで多くの人に知ってもらい、体験してもらう。

今後の検討・提案事項

2. 実際に現場に行き、とても暑いことがわかった。地球温暖化の影響はマツノマダラカミキリだけでなく私達にもある。暑さを乗り越えながら怪我しないためにはどうしたら良いだろう？

参考:

庭木図鑑 植木ペディア<https://www.uekipedia.jp/%E5%B8%B8%E7%B7%91%E9%87%9D%E8%91%89%E6%A8%B9/%E3%82%AF%E3%83%AD%E3%83%9E%E3%83%84/>
林野庁<https://www.rinya.maff.go.jp/j/hogo/higai/matukui.html>
森林生物データベース<https://db.ffpri.go.jp/BioDB/BioDB-L/browserrecord.php?action=browse&recid=155>
オイスカ<https://oisca.org/kaiganrin/blog/>

この林と共に生きる一失われた海岸林を再生するためにー

皆さんは海岸林を知っていますか？

海岸林とは

- 海岸沿いに植えられた森林
- 潮風や飛砂、強風や背後の住宅や農地を守る役割を持つ。
- 主にクロマツ
- 津波や高波のエネルギーを減衰させる防災林として機能

海岸林の課題

- 森林の害虫
- 海岸林について地元市民に知ってもらう
- 次に松を管理する人の確保
- 松を育てる人の努力だけでなく人々に愛されるか

高校生としてできること

ボランティアとして活動をお手伝いすること
も大切だが、海岸林についてたくさんの人に
知ってもらい海岸林の役割などを知ってもらう

問い（クエッション）

東日本大地震によって海岸林にどのような影響があったのか

1 フィールドワーク

Q、海岸林の影響はどんなことがありますか？

A、津波を止めたり他にも人との関わりが影響を与えている。

〈実際に聴いてみて〉

- 海岸林は津波や高潮の勢いを弱めてくれる
- **たくさんの動物たちが生息している**
- 強い暴風を抑えているため農作物の枯死や建物の被害を抑えている
- **海岸林を作るにあたって**
たくさんの人々の協力がある



フィールドワークの成果

海岸林を育てることで津波の被害をおさえてくれるし風に強く折れにくいからこれから海岸林を大切に育てようとおもったしそれを絵本にまとめられるよう頑張りたいです

アクション2 次の一手

海岸林は一度植えれば終わりではなく、再生したあとも害虫の被害や管理する人の不足など、さまざまな課題があることがわかった。震災によって海岸林がどのような被害を受け、その後どのように再生されてきたのかについて詳しく調べ、多くの人に知ってもらうための発信をしたいと考えた。特に、**震災による被害だけではなく、現在も海岸林を守るために多くの人に関わり続けている**ということを伝えたい。

- ① 震災による海岸林への被害について調べる
- ② 震災前後で海岸林がどのように変化したか調べる
- ③ 海岸林の再生や現在の課題について調べる
- ④ 調べた内容をポスターやスライドにまとめる
- ⑤ 学校や地域の人に発信する

ポスターやスライドには、「震災による被害」「震災後の再生」「現在の課題」などをまとめる。**多くの人に知ってもらうことが大切。**

まとめ：背景として分かったこと・フィールドワークで分かったこと
問いに関するいまのところの答え

海岸林は潮風や強風から住宅・農地を守り、津波の被害をおさえる役割がある。

また、人と人との関わりをつくったり、近隣の住民を助けたりする役割がある。

海岸林を再生するためには、**たくさんの人々が協力して育てていくことが大切**である。

今後の展望：今回の活動で

結果を踏えて

新しい問い

- 海岸林にできることは他にもないか
- 海岸林の現在の課題をたくさんの人に知ってもらうにはどうすれば良いか

参考文献

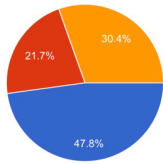
オイスカ <https://oisca.org/miyagi/>
東京海上日動 <https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/world/greengift/forest/study/kaiganrin/function/>
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sinrin/minmori.html>

生き物や市民に愛される海岸林を作るには？ ～Deer My Special～

背景

「海岸林」と「その役割」について知っていますか？

115 件の回答

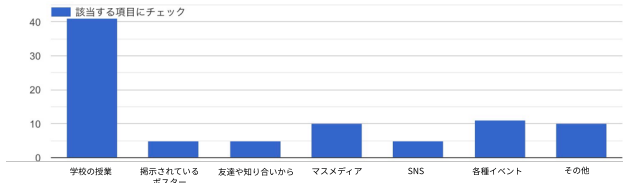


- 知っている
- 海岸林は知ってるがその役割は知らない
- 知らない

海岸林の役割

- ・津波や高波の被害を軽減させる
- ・潮風ややませをさげざる
- ・生物のすみかになる
- ・飛砂の防止

海岸林についてどこで知りましたか？



アンケートを取って分かったこと

- ・海岸林について知っている人と、役割や海岸林そのものを知らない人は半々の割合だった
- 知っている人が大多数ではない
- ・ほとんど学校の授業でしか知られていない

アンケートの結果を通して、高校生として自分達が海岸林のためにできることは？

海岸林について知ってもらおう事！

問い（クエッション）

海岸林に住む生き物たちが、海岸林を荒らしたりすることはないのか？

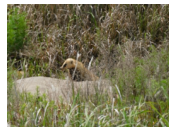
アクション1 フィールドワークの実際

インタビュー内容

荒らされることは無く、狸や狐が根の近くに穴を掘っても根が強いので影響はない
→害を与えるのはカミキリムシや毛虫など

生き物がたくさんいると楽しいと話していた

→海岸林に住む生き物による被害はないが、人間がゴミをポイ捨てしたり、火が燃え移って海岸林や囲っていた柵が燃えてしまうことがあった



オイスカ公式サイトブログよりアナグマ

アナグマ



フィールドワークの成果

海岸林や浜辺を歩いてみて、ミサゴなどの生き物や、海岸林がどのように育っているかを見たり、海岸林を大切に思い守っている人たちがいることが分かりました。
また、度々海岸林にゴミをポイ捨てされてしまうので、もっと市民に海岸林を知ってもらい愛着を持ってもらえるようにしたいと聞き、私たちも海岸林をもっと人に伝えていこうと思いました。

絵本を作ったり、イベントに参加して海岸林の活動を広めよう！！
～海岸林に愛着を持ってもらいたい！～

スケジュール

8月 絵本づくり

9月 icoさんのイベント参加

10月 探求フェスティバル(北高生にも知ってもらおう！)

3月 絵本の読み聞かせ



絵本を作り(fw)！

地元感(名取)を出して親近感を！

例)仙台空港の飛行機、海岸で見たミサゴ、

実際に見てきたものをそのまま表現

例)ゴミ、松ぼっくり、カニ、カニの穴

切り絵で木や空などを表現



カニ

海岸で見つけたカニの穴



ミサゴ

9月のicoさんのイベントに参加しての感想

- ・植物を育てるには、最初の育て方や土壌の環境が大切だと分かった。
- ・虫の被害や温暖化など、植物を育てるうえでさまざまな問題があることを知った。
- ・自然を守るためには、植物だけでなく、そこに暮らす生き物のことも考える必要があると思った。
- ・絵本作りでは小さい子も一生懸命に取り組んでいて微笑ましかった。
- ・みんなで協力して何かを作り上げることの楽しさや大切さを学ぶことができた。



まとめ

- ・動物たちが来るのは健康に松が育っている証拠で動物達に荒らされることはない
- ・海岸林は街を守るための大切な役割を担っている。
- 潮風ややませを遮ってくれる
- 津波が来たときに勢いを弱めてくれる 等々
- ・114人中の約半数が海岸林の役割について知らない
- 自分達が思っているより市民の人たちに海岸林に愛着を持ってもらうことは難しい。



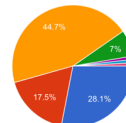
松ぼっくり

今後の展望：今回の活動で

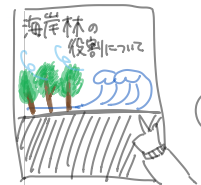
海岸林についてもっと知ってほしいので、印象に残る所にポスターを掲示したいと思った

普段、あなたは、どこの方所のポスターが印象に残りやすいですか？

114 件の回答



- 生徒昇降口
- 教室の後ろ
- 階段の踊り場
- 廊下
- 黒板
- 駅
- 教室の出入口(窓)



どこにポスターを掲示すれば見てくれるのかがわかったのでそれを元にポスターを制作、掲示していきたい。

参考文献

海岸林再生プロジェクト
<https://oisca.org/kaiganrin/blog/2026/07/14/6>
2026年8月20日

海岸林を絵本に

[海岸林がなくなってしまうたら？][絵本の内容と海岸林はどう繋がっているのか？][海岸林周辺の生物の変化は？]

背景

海岸林とは

…海岸に植えられた森林のこと。

主な役割

- ・津波や高潮などの強い波の力を弱める
 - ・海からの強い風や砂を防ぐ
 - ・家や畑、道路を守る
 - ・生き物のすみかになる
 - ・海岸林には、クロマツなどの木が多く植えられている。
- 人々の生活を支えている大切な木🌲

どこがどのように課題なのかという？

- ・木の減少
- ・後継の木が育ちにくいこと
- ・気候変動の影響
- ・生き物とのバランス
- ・潮風で負けてしまう

→津波や台風で木が減ったり、手入れする人が不足しているなどの課題が出ている。**一番の課題:海岸林の大切さを知らない人が多い**

海岸林がなくなってしまうと、...

- ・強い風で砂や塩分を含んだ潮風が内陸へ直接吹き込む
→住宅や車、道路などのインフラを傷めたり腐食させたりする。
- ・強い季節風や台風の勢い、波の高さを和らげるクッションがなくなる
→家屋への被害や暴風による倒木や津波、高潮のリスクが高まる。

そこで高校生として、自分ができることは？

海岸林の役割とその大切さ、今後の課題を実際にフィールドワークなどを通して学んでいき、それを絵本にして分かりやすく海岸林について知らない人たちに伝えていく。

問い（クエッション）

絵本作り当日では

アクション2

【活動内容】

1回目

◎仙台空港周辺にて海岸林実物の偵察

- ・この日は生徒が絵本作りに関係のある活動は行わなかった

2回目

実際に絵本作りに挑戦！

- ◎作中に出てくる松の木の制作に参加
 - ・班単位で雑誌の切れ端で制作したもの
 - ・みんなの手形で作ったものの

Q.海岸林再生について最大の課題は？

A.地元の方々全員に理解していただくこと。

もし自分がこの活動をやめた時に地域の方々は今までやっていたことを全てやってくれるとは限らない。
だからこそこれからの時間を使って「皆に愛される、親しまれる森」にしたいとおっしゃっていた。

フィールドワーク前後で海岸林へのイメージは？

そもそも存在を認知していなかった

→海岸林の有無により私たちと現地の生き物たちが安心して過ごすことができる

アクション1 フィールドワークの実際

海岸林について広めよう

絵本制作

一人でも多くの方に海岸林へ愛着を持ってもらいたい

震災の記憶を風化させず、次の世代へつないでいくため。

東日本大震災で被災した名取市の海岸防災林の再生と震災の教訓を伝えるため

農作物、生き物が海岸林とどう繋がっているか。
海岸林の重要性が分かりやすくまとめられている絵本

スケジュール

8月17日海岸林視察

8月18日創作活動

9月6日ワークショップ

9月27日ワークショップ

◎8月18日の創作活動に参加する

◎9月6、27日のワークショップに参加する



まとめ

海岸林の面

→木が減少している。

気候変動などで木が減ってしまったり、手入れする人が少ない。

絵本の面

→目的は多くの人に海岸林を知ってもらい、震災の記憶を風化させないなどがある。

絵本の存在をどう知ってもらうかが課題となっている。

今後の展望：今回の活動を通して

[海岸林について]

- ・海岸林は整備を怠って、病気などにならないように気をつける。
- ・ボランティアなど海岸林に愛着を持って活動してくれる人たちを増やす。

[絵本作りにについて]

私たちが絵本作りに携わり、より海岸林のことを知れた。

[今後の提案]

どうしたら海岸林や、絵本の存在を知ってもらえるか？

(ポスターや、呼びかけだけではあまり詳しいことまで知ってもらえない)

→読み聞かせの機会を作る

海岸林に愛着を持ってもらいたい、絵本の存在を知ってもらいたい

→絵本に登場するキャラクターのグッズなどを販売する

参考文献

<https://oisca.org/kaiganrin/>

<https://oisca.org/news/kaiganrin-ehon26/>

写真はフィールドワークの時のもの

もし海岸林がなかったら…

～ 知られざる海岸林の恩恵 ～

はじめに

【もし海岸林がなかったら？】

もし海岸林が植えられなかったら、農地や住宅に潮風や砂がかかり、作物がやられる、外壁や建材の劣化といった支障が出てしまう。さらに、津波の勢いを弱めることもできずに大きな被害に遭ってしまう可能性があります。

【海岸林があたえる恩恵】

海岸林は私たちがあらゆる被害から守ってくれるだけでなく、多くの生き物が生息しており、例えば、アナグマやタヌキなどの哺乳類や、チュウヒやミサゴといった猛禽類、フクロウが見られる。このように、海岸林が植えられることで多彩な生き物たちにとって住みやすい環境にもなりつつあることがわかる。

【そこで高校生として、自分達ができることは？】

- ・ ボランティアに参加し、海岸林や付近や海岸のゴミ拾いをする
- ・ 植樹、育樹活動に参加する



実際に植えられた海岸林の一部→

公益財団法人オイスカより



問い（クエッション）

海岸林付近の生態系の実態とは？

アクション1 フィールドワークに行ってみて得た情報

オイスカ・吉田氏への生態系についてインタビュー

Q.海岸林にはどのような生き物、植物がいますか？

吉田氏:

- ・ 草木:270種類、昆虫:270種類そのほかにもヘビやアナグマ、タヌキ、キツネ、猛禽類が生息している
- ・ 海岸林＝動物や昆虫 うまく共生している

インタビューをして元の考えから変わったことやわかったこと
海岸林は "津波から守るために人が人のために育てた木々だ" と思ってたけど、実際は塩から農作物を守っていたり、さまざまな動物の住居になっていたり津波から守る以外に役立っていた。

最新情報 !!

約2週間という短い期間でセンサーカメラを設置した
→ 3種類の動物が撮影された。
(タヌキが最も出現率が高め)

海岸林は野生動物の生息しやすい場所になっている !!

載せられた最新の生態系の情報です。



オイスカHPより

フィールドワークの成果

写真を見るだけ、話を聞くだけでは全く伝わらないリアルな体験ができた。
実際に海岸林に住んでいる動物を見ることは出来なかったけどどのような生き物がいるかの詳しい話を聞くことが出来た。

アクション2 次の一手

間近で海岸林の実態をみるために、ボランティア活動に参加する

～参加方法～

- ①オイスカHPでボランティアに応募する
- ②それぞれの日程でオイスカ事務所へ行く
- ③午前・午後にボランティアを行う（くず刈り取りなどの活動）



← 令和8年 7月に実際に参加したボランティア活動の時の写真です

1番左：吉田さん
真ん中4人：ボランティア参加した北高生
1番右：ボランティアリピーター伊藤さん

- ボランティアに参加することで得られる学び
 - ・ 海岸林に生息している生物を見ることができる。
 - ・ オイスカの活動を知ることができる。
 - ・ 海岸林の役割を知ることができる。
 - ・ 名取市民の海岸林への思いを知れる。

【実際にボランティアに参加している企業・学校】

花壇自動車学校、仙台トヨベット、IBEXエアラインズ、
名取北高校野球部、石巻好文館高校野球部
など...

オイスカHPより

まとめ

もし今まで海岸林を植えていなかったらどんな被害や影響が出ていたかを考えて、ボランティアを通して自分たちの世代で海岸林を守ることが大切。

今後の展望

1.海岸林を大切にするには愛着が必要

- ・ 海岸林にゴミを捨てたり、火を付けたりするのには海岸林への愛着が足りないからという話を聞いたので、**海岸林の恩恵**を知ってもらい広める。

2.若い世代が積極的に活動を行う

- ・ 自然を相手にするので育つまで管理することができる若い世代が積極的に海岸林を保護し、育てていかないといけない。

「愛着が海岸林を救う！～市民参加型絵本とボランティアによる保全意識向上プロジェクト～」

背景



海岸林の歴史

【約400年前】：伊達政宗公が植林を指示

約1,000ヘクタールを超える海岸林が潮害・飛砂・風害などから地域に暮らす人々を守り続けてきました。

【震災後】：海岸林は津波の勢いを弱め漂流物を捉えて建物や農地などの被害を抑える役割を果たした
が根から倒れたり幹が折れるなどの被害にあった。東日本大震災後新しくクロマツを植えて森林を再生する作業が行われた。



問い 人工的に海岸林は強風や砂風を防ぐ役割を十分に果たしているのか？

アクション1 フィールドワークの実際

仮説（初期案）：棒を添えて高さを伸ばし葉の密度を高めば、防風・防砂効果は高まるのではないかな？

【現場取材（Yさん）と検証】

Q. 海岸林ができる前と比べて、風や砂の被害は減りましたか？

A. 「高さが最大9mのため全てを防ぎ切れてはいないが、被害は減っている。海岸林の役割を十分に果たしていると思う。」

Q. 海岸林においてまだ「十分じゃない」と思う点がありますか？

A. 「海岸林を認知してる人が少ないため海岸林に愛着がない人が多いと思われる。その証拠として何年もかけて育てた松が若者に燃やされてしまったという例がある。たくさんの人に愛着を持ってもらう必要がある。」

結論：人工的な高さの補強は不要!!



日常の管理作業（下刈り・病虫害対策）をしっかりとしていれば高さは不要。だが、愛着が足りていない
→「若者や住民の認知不足・愛着不足によって、せっかく育てた松が燃やされる」といった事件が起きている



アクション2 次の一手

自分たちのグループからの提案

海岸林の歴史や管理の苦勞を知らない若い世代に、どのような手段で伝えれば保全への愛着と意識を高められる？



専門的な新聞や雑誌では若者に届きにくい!!

大変さや被災と再生の歴史を視覚とストーリーで直感的に伝えたい!!

絵本

地域住民や子どもたちが「自分たちの街の海岸林」
として身近に感じられる



絵本制作プロジェクトに参加

大人から子どもまで参加し、松の葉のイラストや地元の小松菜を使った「ちぎり絵・コラージュ」で温かみのある絵本を作成

完成した絵本で子ども向けの読み聞かせ活動ワークショップに参加

〈効果〉

- 東日本大震災の実話をもとに、災害教訓と海岸林の重要性を風化させずに次世代へ届ける
- 地域住民や子どもたちが「自分たちの街の海岸林」として身近に感じ、保全意識を高める。



まとめ



フィールドワークを通じ、海岸林を守る最大の鍵は『人工的な高さ補強』ではなく、日常の管理と『住民の愛着・認知』にあることが明確になった。

市民参加型の絵本制作やボランティア活動を通じて『自分たちの街の海岸林』としての愛着を深めることで、一部の管理者任せではなく『地域住民全体で育てる保全基盤』を構築できる。

今後の展望：今回の活動で

- 海岸林をより強く、長く守っていくためには、どのような管理が必要なのか？

- 今回学んだことを多くの人に伝え、海岸林を守る活動につなげていきたい。

※実際に3月中にある防災マルシェに参加し、絵本の読み聞かせを行います。

参考文献

- 宮城県「みやぎ海岸防災林・森林づくり管理方針について」<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sinrin/mkaiganrin.html>
- 森林総合研究所「東日本大震災での津波で被災した海岸林の再生」<https://www.fpri.go.jp/snap/2021/5-kgrsaisei.html>
- 宮城県「海岸防災林の伐採木等の有効利用について」<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sinrin/bossaibokutayou.html>
- 東京海上日動火災保険「海岸林の歴史」森林・海岸林を学ぶ森を守る活動Green Gift <https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/world/greengift/forest/study/kaiganrin/history/>
- 公益財団法人オイスカ「北釜地区を400年間守ってきたクロマツ林～津波による消失と再生の道のり～」イラスト：ico、撮影：261607班(半澤希)
- 枯れた松と手形で作成した松の絵 撮影：261607班(半澤希)
- Geminiの画像生成
- 海岸林の歴史<https://miyogiriyokusui.com/blog/?p=56>
- 海岸林ととれるキノコについて<https://oisca.org/kaiganrin/blog/2013/09/27/菅野レポート%E3%80%80その3%E3%80%80キノコ編/>

なぜ海岸林はクロマツにこだわるのか？ ークロマツがなかったら今の名取市はなくなっていたー

背景 クロマツ以外にも海岸林として役に立て
る木はないのか

そもそもクロマツって？

- 日本の海岸の近
くによく育つ松
- 潮や砂に強い
- 成木になるまで
は30年かかる



↑ 植えてから約5年のクロマツ

現状の課題

クロマツを海岸林として育てるに
は人手、お金、時間がとてもかかる
ではなぜそこまでして**クロマツ**に
こだわるのだろうか

アクション2 次の一手（自分たちのグループからの提案）

なぜクロマツが災害を軽減させるほど丈夫な理由を知るために

実際に聞き込みをしたり調べる

実際に体験した

- 海岸林奥まで行きクロ
マツの管理の課題を知
る
- なぜクロマツなのか
クロマツの苗を調べる



もともと**自然環境**に強いクロマ
ツときの**こ(菌糸)**と共生すること
により互いに**弱点**を克服し合うため

問い（クエッション）

なぜ、他の種類ではなくクロマツを植えているのか？

アクション1 フィールドワークの実際

インタビュー内容

クロマツにはほかの木と違って何が海岸林として優秀なのでしょう？

オイスカの吉田さん
クロマツは潮風に強くて、他にも何もなくても成長してくれるし、
水も少なくてもいい事が優秀

比較項目	一般の木・広葉樹	クロマツ
塩害（潮風）	葉が枯れやすく耐えられない	葉の構造上、潮風や塩分に極めて強い
土壌（砂地）	栄養・水分不足で育たない	菌糸（きのこ）との共生で砂地でも育つ
防災力	風や波で倒れやすい	深根性と強い幹で津波・風波に耐える

実際に海岸林の近くの公園
などから実際の海岸林まで
見ることができた
写真などでは分からないリアルな海岸林をみることで
きてとても良い経験になった



まとめ：背景として分かったこと・フィールドワークで分かったこと
問いに関するいまのところの答え

潮、砂に耐えられるクロマツでなければ海岸林として使えない
クロマツの生育方法も海岸林に適しているため
つまり

クロマツほど最適な木はない！

今後の展望：今回の活動で

クロマツと一緒に海岸林として活躍できる木はない
のだろうか。

潮に対抗できる広葉樹があればクロマツや整備する
方々への負担を減らすことができるのではないかな。

参考文献

ウィキペディア
オイスカの吉田さんのお話
ICOさんのお話
我々が撮ったお写真